

ハタラク

HATARAKU vol.01

これから就職を考える高校生のみなさんに働く素晴らしさを伝えるシリーズ企画。



働かって、楽しい!

▼ PUSH START BUTTON

釧路の街で、ハタラクウ!

家をつくる、ビルをつくる、橋をつくる、道路をつくる。この街をつくるのは職人さんです。そんな建設・土木業界で働く若者たちにスポットを当て、働くことについてインタビューしました。

今回は阿寒共立土建(株)の出島 広大さんです。



PROFILE

でじま こうだい

出島 広大さん(24さい) / 阿寒共立土建(株)

釧路江南高校を卒業後、自動車工学を学ぶために北見工業大学へ進学。しかしある授業がきっかけで橋の構造に興味を持ち、そこから土木へと興味が広がり建設業に就職。現在は釧路開発建設部発注の「北海道横断自動車道 釧路市 阿寒改良工事」の現場にて測量中! 測量士補、2級土木施工管理技士取得。



Q.01

どんな仕事内容ですか?
仕事の魅力はなんですか?

橋や道路などの土木施工管理の仕事です。現場で測量したり作業員さんに指示を出したり、施工図等を作ったり、資料や燃料を手配したり…結構幅広い仕事内容です。この仕事の魅力は、何とんでも完成した構造物を見たときに溢れ出す“感動”です! コンクリートを打つ(生コンクリートを型枠に流し込む)とき、その分量なども全て細かく指示を出すのですが、型枠を外して完成したものを見ると「ああ、自分もこれを造ることに携われたんだ」と感慨深くなるんです。

Q.02

苦勞話や、目標を聞かせてください!

一番苦勞したのは、クシヨナイ西改良工事で行った情報化施工です。ブルドーザーの敷均し厚などをGPSで管理したのですが、GPSがいきなり繋がらなくなったんです。当時はまだ原因や対処法が分からず四苦八苦してしまいました。これからの目標は、コンクリート診断士という難しい資格を取ることです! 時代は橋を「つくる」から「維持管理する」へシフトしているので、コンクリートを診断できるような技術者になりたいんです。その前に一級土木施工管理技士の資格を取ることが先ですね。これは一発合格を目指しますよ!

▶ My 装備品



タブレット端末

図面、数量書、仕様書など本来なら厚い辞書のようなデータがぎっしり詰まっている、バイブル的存在! 防塵・防水ケースに入れているのもミソ。

ワタシは今、
一級土木施工管理技士の
資格を取るために勉強中です!!



インタビューの内容は、今後開設予定のWEBサイト又はPR冊子にてご覧いただけます。

職業訓練法人 釧路地方職業能力開発協会

釧路市鳥取南7丁目2-20 / Tel.0154-52-1150

釧路地域職業訓練センター内

※釧路市受託事業 若年者向け建設業魅力向上PR事業